

- ・会議の日時及び場所
日時 平成26年7月24日(木)午後2時05分
場所 小山市立中央公民館 第1研修室
- ・会議の組織人員
人数 6人
・出席委員
1 番 福井 崇 昌
2 番 神 山 宣 久
3 番 福 地 尚 美
4 番 新 井 泉
5 番 西 口 絹 代
6 番 酒 井 一 行
- ・説明のため本会議に出席した職員
教 育 部 長 片 柳 理 光
教 育 総 務 課 長 添 野 雅 夫
学 校 教 育 課 長 中 島 利 雄
生 涯 学 習 課 長 栗 原 要 子
文 化 振 興 課 長 田 村 秀 雄
生 涯 ス ポ ー ツ 課 長 篠 田 稔
博 物 館 長 水 川 和 男
- ・書記
教育総務課長補佐兼総務政策係長 小 林 功

議題

報告事項

1 教育総務課

- ・寄付受入れについて
- ・叙位叙勲の伝達について
- ・「小学校体育館等を活用した防災宿泊学習」の開催について
- ・「キッズ・ユニバーシティ・おやま2014」の開催について
- ・「教職員を対象とした防災リーダー講習会」の実施について

2 生涯学習課

- ・いじめゼロ子どもサミットについて(第2回)
- ・平成26年度第1回小山市いじめ等防止市民会議について

3 文化振興課

- ・小山市制60周年記念 第10回寺野東遺跡縄文まつりの開催について

4 生涯スポーツ課

- ・平成26年度大会結果速報について

5 博物館

- ・小山市制60周年記念
第63回企画展「評定と関ヶ原合戦」開催結果について

- ・ 栃木県立博物館地域移動博物館

「のぞいてみよう植物ワールド～維管束植物の世界～」の開催について

審議事項

1 教育総務課

- ・ 議案第1号 平成27年度使用教科用図書の採択について
- ・ 議案第2号 小山市城南地区新設小学校建設推進委員会設置要綱の制定について

2 生涯学習課

- ・ 議案第3号 小山市生涯学習推進協議会委員（補欠委員）の委嘱について

3 文化振興課

- ・ 議案第4号 小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会委員の委嘱について

○ 添野教育総務課長

皆さん、こんにちは。平成26年7月の定例教育委員会にあたり、本日の会議録署名委員の指名でございますが、今月の会議録署名委員は福地委員さんをお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは委員長、よろしくお願いいたします。

○ 福井委員長

それでは、ただいまより7月の定例教育委員会を開会いたします。

報告事項に入る前に、今回審議事項の中に意思形成過程のもの及び個人情報に関する内容が含まれておりますので、次のものについて非公開にしたいと思います。これについてご提案申し上げます。

審議事項であります。この中で、議案第1号 平成27年度使用教科用図書の採択について。ただし、審議の部分は公開とするという形でまいります。

以上の件に関して非公開という形をとらせていただければよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○ 福井委員長

それでは、賛成多数ということで、小山市教育委員会の会議規則17条第2項によりまして非公開ということにいたします。

なお、平成27年度使用教科用図書の採択結果につきましては、委員会の終了後口頭にて発表いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速報告事項に入ります。

私からの報告事項は、ここに来て非常に暑い日が続いております。ニュースでも熱中症で子供たちが倒れるような事故が続いております。学校現場はもちろんですが、社会教育機関におかれましても十分に注意されて、いろいろな行事に当たっていただきたいと思っております。

具体的な報告事項は、私からはございませんので、教育長からお願いいたします。

○ 酒井教育長

例によりまして定例校長会の趣旨事項についてご報告を申し上げます。

1 学期 1 万4,000名の児童生徒、順調に学校生活を送って、無事夏休みに入ったわけであ

りますけれども、そのような活動を展開していただきました各学校に対して御礼を申し上げます。

3点から指示をしたわけでございますけれども、まず学力の向上という観点に立って、全国学調の結果なども夏休みに返ってまいりますので、この辺の結果を生かして次の施策に取り組んでいただきたいと思います。また、報告書等につきましては、後に委員会でもお示し申し上げますけれども、これが1点でございます。

それから、2つ目でございますけれども、特によりよい人間関係の形成という観点から、いじめ、不登校の未然防止、早期発見、早期対応などについて指示をさせていただきました。

3点目でございますけれども、今年度特に強調して進めている施策でございますけれども、ほめて伸ばす小山のよい子ということで、今後ともお続けいただきたいということで指示をさせていただきました。

なお、提案事項といたしましては、過日読売新聞のほうに、教職員の多忙感について話題になっておりましたので、ともに手を携えて検討課題としてまいりましょうということで提案をさせていただきました。

以上でございます。

それから、後に資料でお配り申し上げますけれども、3つ推進委員会が本日を皮切りに開催されますので、本席におきましては名称だけご報告をし、後にまた資料でお配りしたいと思っております。本日は、城南市民交流センターにおきまして小山市城南地区新設小学校建設推進委員会の開催がございます。また、明日、夕刻でございますけれども、小山市小・中一貫校絹中学区推進委員会を開催する予定でございます。また、来週に入りまして、7月28日月曜日、同じく6時30分から豊田公民館におきまして小山市小・中一貫校豊田地区推進委員会が開催されますので、ご報告を申し上げます。

大きな3点目でございます。ただいま熱中症について委員長のほうからお話がございましたけれども、本日、向野でございます小山運動公園で、小学生陸上競技大会が開催されておりました。二、三日前から調子が悪いという児童でありましたけれども、軽度の熱中症の疑いということで、大事をとって新市民病院のほうに搬送させていただきました。当初ベンチにいた者を保健室の涼しいところで休憩をさせ、その後万全をとって新市民病院のほうに移送をしたということでございます。点滴治療を受け、その後体調が回復しましたので、保護者とともに帰宅予定であるという報告を受けております。私も開会式には参加をし、蒸し暑い中でございますので、着座をさせて子供たちに開会式に臨ませるとか、熱中症の対策ということで、大会役員の皆様にも休憩等を挟みながら健康管理を実施しながら進めるようにと指導させていただいたところでございます。

大会は間もなく無事終了の予定でございます。今のところ順調に進んでいるという報告を受けております。

以上、3点報告をさせていただきました。

○福井委員長

続きまして、教育部長からお願いいたします。

○片柳教育部長

私のほうから1点報告させていただきます。

委員の皆様のところへ本日チラシを配付させていただきました。渡良瀬遊水地の湿地保全・再生のお願いということで、渡良瀬遊水地の中にヤナギやセイタカアワダチソウが大

変ふえておりまして、それによりまして乾燥化が進んでしまうということで、市を挙げましてヤナギ、セイタカアワダチソウの除去作戦が始まっております。第1回は、6月28日に行ったわけです。第2回は8月24日に行うわけですが、このチラシの中では、一番下に主催が「小山市」と入っておりますが、やはり市を挙げてこの渡良瀬遊水地の湿地保全、再生を行うということで、第2回以降は小山市教育委員会も主催に入るといってございまして。市を挙げて湿地保全のためにヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦を行うということで、8月24日、日曜日ではありますが、6時半集合、7時から行いますので、委員の皆様も時間に都合つければよろしくお願ひしたいと思います。これからは定期的に行うということで、2カ月か3カ月に1回ずつ行うということで、8月は2回目といっただございまして、今年中にもう一回行うという予定でありますので、よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、教育総務課長からお願いいたします。

○添野教育総務課長

教育総務課からは5件ご報告いたします。

まず、3ページになります。寄附受け入れ報告でございます。絵画（早春）、これは羽川西小学校に、扶桑にお住まいの山根隆様から8号の絵画をご寄贈いただきました。約150センチ×180センチ、これは額装込みの大きさのものでございます。そのほかは、中央図書館に図書等の寄附でございます。

続きまして、4ページをお開きいただきたいと思います。叙位叙勲の伝達についてでございます。死亡叙位叙勲ということで、元豊田南小学校長の廣瀬重男様のご逝去なされまして、去る7月2日に石橋町の自宅にて叙位叙勲の伝達を行いました。

続きまして、5ページになります。体育館等を活用した防災宿泊学習の開催についてでございます。こちらは毎年実施しておりまして、本年が第5回目になります。ことしは、8月24日から25日にかけて、下生井小学校の体育館、ランチルーム、校庭等を使いまして、下生井小学校、網戸小学校の3年生から6年生の児童希望者を対象といたします。こちら希望者となっておりますが、人数が固まり、下生井小学校が18名、網戸小学校が16名ということで、合計34名の参加者となっております。

内容につきましては、疑似避難所生活ということで、体育館に宿泊すること、そして非常食を体験していただく。また、防災学習体験として、こちら誤りがございまして、訂正をさせていただきたいと思います。「起震車」と書いてありますが、起震車については、県のほうから借りるわけなのですが、都合がつかなかったものですから、起震車ではなくて消防本部にあるはしご車が参りますので、「はしご車」と訂正をお願いしたいと思います。また、煙の中を歩行する体験、けむり体験、それから生活用水をつくる体験等を行います。また、郷土学習といたしまして、生井地区の歴史について、地元地区の自主防災会長であります早乙女様より生井地区の過去の台風、その他洪水等の歴史について、子供たちに体験談等を含めて語っていただきます。

続きまして、6ページをお開き願ひしたいと思います。「キッズ・ユニバーシティ・おやま2014」の開催についてでございます。こちらは3年目となります。小山市では白鷗大学、そして小山工業高等専門学校、関東職業能力開発大学校と連携いたしまして、子供たちの知的好奇心を刺激いたしまして、学問への憧れを抱く学びの機会を提供するというところで実施しております。

まず、内容でございますが、白鷗大学におきましては、去る7月21日午前9時半より開催をいたしました。こちらは終了しております。講義内容は、レクリエーション実技、そして心理学入門、哲学入門ということで実施させていただきました。こちらの資料が古くなっているのですが、46名参加予定でございましたが、1名都合がつかせんで、45名の参加となっております。

2番目が小山工業高等専門学校、こちらにつきましては、8月9日に開催の予定でございます。講義の内容につきましては、記載のとおりでございます。レゴブロックを用いたロボット工作、3D立体文字製作、やじろベネモーター製作、また7ページのほうでは、羽ばたくおもちゃ製作、ナノワールドをのぞいてみよう、七宝焼き、人工イクラづくりなどとなっております。こちらは、参加申し込みが確定いたしまして、53名の参加予定でございます。

3番目が関東職業能力開発大学校で、10月25日に開催予定でございます。講義内容でありますとか指導者等については、現在調整中でございます。また、対象者の募集につきましては、今後募集をかける予定でございます。

以上「キッズ・ユニバーシティ・おやま2014」の開催についてご報告させていただきました。

続きまして、8ページをお開きいただきと存じます。教職員を対象とした防災リーダー講習会の実施についてでございます。こちらは、昨年度に引き続き2回目となります。東日本大震災を踏まえまして、地域の防災計画に基づきまして教職員、そして児童生徒の防災に対する意識向上及び安全確保のために行うものでございます。

日時は7月31日を予定しております。会場は小山市消防本部庁舎、対象は市内の各小中学校より1名、計38名の参加を予定しております。内容は、講義といたしまして「防災リーダーの役割」、「防災気象情報の知識と活用」、実技といたしましてAED講習、演習はHUG研修を予定しております。

詳細の講義日程につきましては、9ページに記載しておりますので、ごらんいただければと思います。

以上5項目、教育総務課からご報告申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

○福井委員長

続きまして、生涯学習課長からお願いいたします。

○栗原生涯学習課長

生涯学習課から2件ご報告をさせていただきます。

まず、10ページをごらんいただきたいと思っております。第2回目いじめゼロ子どもサミットについてでございます。全国的に日常生活の延長上でいじめが生じ、児童生徒の心身の健全な発達に重大な影響を及ぼす深刻な問題となっております。小山市におきましては、このような問題を事前に防ぐとともに、いじめ撲滅を目指すため、平成25年度から子供の主体的な活動によるいじめゼロ子どもサミットを開催し、今年度は中学校区ごとにいじめゼロスローガンを作成し、各校ごとに取り組みを開始いたしました。各中学校区のいじめゼロスローガンはそれぞれお読みいただきたいと存じます。

日時は6月13日金曜日、文化センター小ホールで行ったわけでございます。教育委員の皆様には大変お世話になりました。

次に、11ページをごらんいただきたいと思っております。平成26年度第1回小山市いじめ等防止市民会議についてでございます。平成25年度から家庭、学校、地域、行政が連携して、

小山市いじめ等防止市民会議を立ち上げ、おやまのよい子を育てる大人宣言を採択いたしまして、いじめ防止の啓発活動を取り組み始めました。今年度は、大人宣言を受けて取り組みを振り返り、活動したことについての実践事例の発表を行いました。

日時は6月23日月曜日、同じく文化センターの小ホールで行いました。2回目は平成27年1月19日月曜日、自分たちが取り組んできたことを実践事例として発表し、今後も継続して行っていくことを確認していく内容でございます。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、文化振興課長からお願いします。

○田村文化振興課長

文化振興課から報告事項が1点、12ページをお開き願います。件名としまして、小山市制60周年記念、第10回寺野東遺跡縄文まつりの開催について。

こちらについては、平成7年に国史跡に指定され、平成16年に史跡公園として整備、開園した寺野東遺跡を市内外の方に広く周知することを目的としまして、地域の歴史や文化に愛着を持ってもらうため、地元の協力によって行うものであります。

今回は10回目ということで、節目の年になるということから、縄文体験コーナーを充実させ、また桑地区わがまち発掘推進協議会が、地元で栽培された桑の葉を使ったうどんやまんじゅうの試食、販売も実施することになっています。

日時といたしましては、平成26年8月23日の土曜日、9時から3時になります。小雨は決行ですが、荒天の場合は中止ということです。

主催は、寺野東縄文まつり実行委員会になっております。

会場は、寺野東遺跡及び資料館駐車場です。

行事の内容としましては、ブース、縄文体験、小山ブランドの販売、地元各団体による食品販売等。イベントとしまして、縄文広場の水場遺構での魚すくい、また抽せん会。ステージ発表としましては、地元生涯学習サークル及び絹中学校によるフラダンス、大正琴、吹奏楽、ほかになります。また、新たなステージとしまして、結城紬のファッションショーを開催します。これについては、絹公民館で着つけ講座をしている方の協力を得て開催します。

13ページに縄文まつりのチラシを載せさせていただきました。これについては、桑地区、絹地区の自治会に回覧という形で8月1日の広報と一緒に回覧していただくような形になっております。

以上であります。

○福井委員長

続きまして、生涯スポーツ課長からお願いいたします。

○篠田生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課より平成26年度大会結果速報について、6月12日から7月8日分をご報告申し上げたいと思います。

なお、同時に県大会の結果が紹介されておりまして、夏休みに入ったところから今後関東大会、さらには夏休み後段に全国大会というような予定が組まれていると聞いておりますので、ご案内させていただきます。

まず、全国高校総体県予選です。順に、剣道関係が2件、重量挙げ関係が6件です。2番目の戸井ひなたさんが間々田中学校、3番目の穂山亮さんが小山第三中学校、少し下の

ほうに参りまして山口将太さんが小山第三中学校、それからその下、入江香代子さん、小
山城南中学校の出身ということでございます。

続きまして、県ジュニア陸上トライアル関係が5件です。落合廉さんから類家彩花さん
まででございます。

6月17日には全国高校総体県予選ボクシング、その下には関東大学女子バスケットボー
ル新人戦、スポーツ少年団交流大会女子ミニバスケットボールが優勝しております。佐野
善則さんは小山第三中学校の出身でございます。1つあげまして、大谷北OWLS、「オ
ウルズ」と読むそうなのですが、フクロウの意味を持つのだそうでございます。

続きまして、全国高校総体県予選カヌー関係競技が4種目。阿部竜海さんから山井那津
美さんまででございます。その中の阿部・須田ペアでございますが須田さんが乙女中学校
出身でございます。その下、4人お名前が並んでおりますが、高橋さんが小山第三中学校
の出身でございます。

続きまして、6月29日は全日本小学生中学生アーチェリー大会、館野磨生さんが優勝を
いたしております。

続きまして、県中学春季水泳競技大会で6人が優勝しております。細沢知弘さんから丸
本・東山・鳥光・田中さんまででございます。成績はごらんとおりでございます。

次でございますが、全日本中学通信陸上競技県大会におきましても優勝者が出ておりま
す。ごらんの成績でございます。

参考までに、萩野公介選手ジャパンオープンでの成績を掲載してございます。ごらんの
とおりでございますので、よろしくお願いいたします。

簡単でございますが、ご報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

○福井委員長

続きまして、博物館長からお願いいたします。

○水川博物館長

17ページをお開きいただきたいと思っております。小山市制60周年記念、第63回企画展「小山
評定と関ヶ原合戦」開催結果についてであります。今回の企画展の展示では、ちょうど小
山で行われた小山評定がその後の天下分け目の決戦、関ヶ原への合戦へとつながり、日本
歴史上の転換点として重要な意味を持ったことを評価していただくとともに、歴史や文化
に対する興味関心を深めていただくということから行ったものであります。

期間につきましては、平成26年4月26日から6月29日までの開館日数55日で実施をいた
しました。

また、入館料につきましては、車屋美術館との共通券、大人450円、大学・高校生が300円、
博物館のみの入館料といたしまして、大人200円、大学・高校生が100円ということで今回
は実施をしたところであります。この入館者数でありますけれども、全体では7,997名、う
ち有料入場者は1,836名を数えました。有料入場者の内訳につきましては記載のとおりであ
ります。

6の記念事業といたしまして、講談師、神田真紅氏による「小山評定から関ヶ原合戦へ」
の講談へは54名の参加がありました。また、記念講演会といたしまして、茨城大学教授高
橋修氏による「関ヶ原合戦図屏風について」には67名の参加がありました。関連講座「甲
冑着用体験」といたしまして、5月6日に18名、6月22日に20名の参加があったところ
であります。

以上であります。

続きまして、18ページをごらんいただきたいと思います。栃木県立博物館地域移動博物館「のぞいてみよう植物ワールド～維管束植物の世界～」の開催についてであります。維管束の植物とは、維管束を持ち、体が根、茎、葉からできている植物のことで、栃木県内だけでも約3,000種類が知られております。今回の展示では、県内の平地に広がる雑木林や寺社の境内に見られるその土地本来の植物、栃木県ゆかりの植物を中心に紹介していきたいと考えております。

会期につきましては、8月1日から9月7日までの開館日数32日で実施をいたします。

4の展示概要でありますけれども、IからVまでの春植物、社寺林の植物、雑木林の植物、イチジク属の植物、栃木ゆかりの植物について展示をいたします。

また、エントランスの展示といたしまして、「維管束植物の体を見てみよう」、II番といたしまして、「ミニ渡良瀬遊水地・ラムサール展」を展示いたします。

記念事業といたしましては、栃木県立博物館主任研究員の星直斗氏による「栃木県内に見られるコウホネ類について」、8月6日に実施をする予定であります。また、休館日については、記載のとおりであります。

以上、報告をいたします。よろしく願いいたします。

○福井委員長

報告事項につきましては以上でございます。これらにつきましてのご意見などをお伺いしたいと思います。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

私のほうから、8ページの教職員を対象とした防災リーダーの講習会ということですが、演習のHUG、ハグというのかな、これは内容的にはどんな研修なのか。

教育総務課長。

○添野教育総務課長

こちらHUG研修という名前がついているのですが、Hは避難所です。日本語の避難所の頭文字をとってH、避難所のHです。Uは運営のUです。Gはゲームです。英語ではなくて日本語を当てていって、H、U、GでHUG研修ということで避難所運営ゲームです。避難所を想定して、その仮想の避難所を実際に運営するゲームをやってみるといった研修でございます。

○福井委員長

わかりました。

ほかにいかがでしょうか。

○新井委員

このチラシを見せていただいて、「ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦」と書いてあるのですが、このセイタカアワダチソウというのは、外来種で悪い草かなと思ったのですが、このヤナギというのは、もともとある柳の木のことなのですか。

○片柳教育部長

柳は、1年、2年ですぐ大きくなってしまいます。それがどんどん根が張ってきますと、どんどん水を吸ってしまって、見ていただくとわかるのですが、すごい大きな木ですぐ林になってしまうのです。ですから、小さいうちに本当は抜けばいいのですが、なかなか抜けないというのが実際のところなんです。セイタカアワダチソウは抜けるのですが、柳の木はもう切っていくような状況です。

○新井委員

ありがとうございます。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

○福地委員

寄附受け入れのところで、羽川小学校に寄附された山根隆様という方はプロの絵描きさんでいらっしゃるのでしょうか。

○福井委員長

教育総務課長、お願いいたします。

○添野教育総務課長

日展のほうに会員として出展なされているということはあるのですが、聞いたところによりますと、余り売買されるような例がないような話を聞いております。実際に絵画を制作して、それをなりわいとするような方ではないのかなど。絵画がお好きで、その趣味の延長で、素晴らしい才があって日展等の中で入選するだけの画力があったという方なのかなど。画家ということで、それで生活をされている方ということは聞いておりません。

○福地委員

ありがとうございます。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

西口委員、どうぞ。

○西口委員

12ページの寺野東遺跡のお祭りのことなのですが、結城紬のファッションショーを行うということですが、8月の暑い中、外でやるのでしょうか。結城紬は、皆さんご存じだと思いますが、汗をかいた後のことも大変で、クリーニング代とかいろいろ経費もかかるのではないかなどと思って、どなたかがご負担するようなことになってしまうのかなど、今想像すると大変だなと思っております。

○田村文化振興課長

こちらについては、先ほども説明させていただいたのですが、絹公民館で着つけ講座をやっている方がいるわけなのですが、その方に協力していただけますかということでご相談に行って、夏の暑い時期なのですが大丈夫ですよということで了解をいただいたものですから、確かに西口委員が言うように心配するところはあるのですが、ご本人の方たちの了解が得られたものですから、今回やらさせていただきます。

○西口委員

では、全てボランティアでお願いしているという状況で、ありがたいですね。

○田村文化振興課長

暑い中でそのまま出させていただくのですが、それ以上の補助を出さないで参加していただけるということで了解を得ております。

○西口委員

夏ですのですね。

○田村文化振興課長

ステージ関係については、いつも駐車場のほうでやっていたのですが、ことしは広場の木の生えている日影のほうにステージをつくってやりましょうという方向で実行委員会

進んでいます。駐車場でやっているところしか来ないで、中の縄文広場のほうに入っていないだけなのですが、ことしは広場で、水辺の水場遺構というのがあるのですが、そこに小魚を放して子供たちに魚釣りをやっていただくときなるべく縄文時代に触れていただくようなことを考えて、遺構を中心に催し物をするような計画にしております。

○西口委員

ありがとうございました。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

神山委員、どうぞ。

○神山委員

これと直接結びつかないかもしれないのだけれども、8ページ、9ページの防災訓練講習会、大事なことのだけれども、中地区のほうの避難場所は小山第三小学校なのです。中地区の住民で小山第三小学校を知っている人は、恐らく片手で数えるほどしかいないと思うのです。そういうハザードマップが小山にあるのです。それで、水害を想定したハザードマップなのだけれども、中地区のほうだとすると、一番水害の危険性があるのは思川、その次に危険性があるのは巴波川なのです。巴波川を越えて思川を越えて、小山第三小学校までに避難しなくてはならないか。そういうハザードマップを平気でつくっている小山市があるのですよ。まずそういうところを、おかしいって誰かが声出していただきたい。説明会のおかしうって声を出したのだけれども、ハザードマップできてしまった後でどうにもならなかった。それで、こういう講習会とか訓練があるたびにそういう声を出していただきたい。

実際の例を言いますと、この間名取の閑上地区の閑上小学校、閑上中学校行ってきたのですが、あの津波でも小学校と中学校に逃げ込めた人は助かっている。だから、そういうことがあって、1階、2階が水でのまれたってその上に逃げるゆとりのある建物というのは必ず避難所になるのです。だから、我々が知っている中地区の話だと、中小学校、美田中学校は知らない人いないものだから、そういうところをまず避難所にすべきだと思うのです。そういう実際的な実践的な避難方法をハザードマップには書くべきだと思うのです。こういう機会があるごとに、それは皆さんで大きな声で訴えてほしいと思うのです。そうすると随分よくなるかなと思うのです。

以上です。

○福井委員長

ご意見ということでお伺いしたいと思います。

そのほかいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

報告事項について特段ご意見なければ、報告内容を承認したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、報告事項については以上で終了いたします。

続きまして、審議事項に入ります。審議事項につきましては、先ほども冒頭申しましたように、議案第1号につきましては、非公開の案件、内容が入っておりますので、非公開

という形で皆さんからご承認をいただきました。順序は逆になりますけれども、議案第2号は公開で問題ありませんので、先にやりたいと思います。

議案第2号 小山市城南地区新設小学校建設推進委員会設置要綱の制定ということであり、これについての説明をお願いいたします。

教育総務課長。

○添野教育総務課長

教育総務課から審議事項ということで、小山市城南地区新設小学校建設推進委員会設置要綱の制定についてご説明申し上げます。

こちらにつきましては、冒頭教育長からの報告の内容で、本日から城南地区の新設小学校並びに豊田中学区、絹中学区の小中一貫校の推進委員会が始まるという報告をいただいたわけですが、城南地区の新設小学校におきましても建設推進委員会を設置いたしたく要綱を制定するものでございます。

要綱の内容につきましては、3の内容のとおりでございまして、第1条で設置関係、第2条で所掌事務の概要、第3条でその組織、そして第4条以下で会長及び副会長、会長の職務等、会議、顧問、報告、庶務になっております。詳しくは23ページが要綱（案）でございます。新設小学校を建設するに当たりまして、どのような学校にしたらいいかということで、地域の保護者の代表者、子供会育成会の代表者、自治会の代表者、学校評議員、その他教育委員会がそれと認める者ということで、学校の校長先生や教頭先生などを入れてまして推進委員会を設置するものでございます。こちらにつきましては、今年度平成26年度に新設の小学校の基本構想をつくってまいります。その基本構想をつくるに当たりまして、その委員の皆さんからさまざまなご意見を頂戴いたしまして、反映させて新しい学校の基本構想をつくっていきたく考えております。

また、この要綱の中には書いてありませんが、地域の皆様からアンケートをとりまして、多くの意見を取り入れて、地域とともにある、地域の誇れる学校を建設するための準備をしていきたく考えております。

要綱の詳しい内容につきましては、大変申しわけございませんが、省略をさせていただきます。

以上、審議事項ということで、よろしく願いいたします。

○福井委員長

議案第2号につきましては以上のような説明であります。

これについての審議をお願いいたします。

神山委員、どうぞ。

○神山委員

この委員会の検討期間というのは何年ぐらい考えているのですか。

○福井委員長

教育総務課長。

○添野教育総務課長

建設推進委員会という名称をこのまま使うことは問題があるのですが、今年度基本構想をつくるということで考えております。そして、来年度からその学校の基本設計、実施設計を行ってまいりまして、28年度から建設を開始すると。そうしますと28、29、30年度で学校が完成するだろうと目標を想定しております。31年度、開校の準備等期間を要するものと考えておりますので、これからさらにピッチを上げていきたく。ただ、今後新設の

小学校ということで学校名、それから校歌、校章等がまだ決まっておりません。また、PTA組織についても直接委員会と関係あるものではございませんが、学校の構成としては、当然必要だろうと。また、学校を実際に運営できるような形づくりをするためのさまざまな準備は、この基本構想が終わった後、27年度からのそのような準備をしていかなければならない。ですから、建設推進委員会というよりも、例えば新設小学校の開校準備委員会のような名称に衣がえをしまして、委員の内容についても若干入れかえがあってもおかしくないのかなど。私どもで今考えておりますのは、こちらの委員会については1年を考えております。ただ、状況によってこの名前でもいいですよと。このままいきましょうと委員の皆さんの中で、委員の入れかえというのは余りないと思いますが、少なくとも開校に近くなるまでは、地元としてその準備を進めていく必要がありますので、それなりの期間は存続すると考えております。

○福井委員長

神山委員、どうぞ。

○神山委員

心配したのはそこなのです。みんなこれは充て職で入ってくるものですから、毎年毎年みんなかわってってしまうのです。だから、よほどうまくコントロールしないと毎年毎年振り出しに戻ってしまうような気がするものですから。その辺事務局としてのコントロールをうまくやらないと話がばらばらになってしまうような気がするものですから、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○福井委員長

福地委員、どうぞ。

○福地委員

今小山市としては、小中一貫校というのを目指そうとしているのですが、これに関しては、学校の統合と併せてということで進めていくのでしょうか。

○福井委員長

教育総務課長。

○添野教育総務課長

小中一貫校については、平成28年度から全市一斉に進めるという予定でおります。小中一貫教育が始まるということであります。ただ、どうしても一般的に小中一貫校といひますと小学校と中学校がくっつひている、あるいはすぐ近くにある、1つに近いイメージがあるかと思ひます。実際には市街地の学校につきましては、物理的に保護者の問題、それから児童数、生徒数の問題で学校を2つくっつけるようなことは、現実問題としてできないものですから、分離した現状で小中一貫教育を進めます。こちらはあくまでも新設の小学校をつくる、そちらに焦点を当てております。そういうことでご理解いただければと思ひますので、よろしくお願ひします。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

[発言する者なし]

○福井委員長

ほかにご質問なければ、議案第2号につきましては、原案どおり決定したいと思ひますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第2号につきましては、原案どおり決定いたします。

それでは、議案第1号に入りたいと思います。平成27年度使用教科用図書の採択についてということでございます。

これについての説明を教育総務課長よろしくお願いいたします。

○教育総務課長

資料の20ページをお開きいただきたいと思います。

議案第1号 平成27年度使用教科用図書の採択についてでございます。

今年度は、小学校用教科書及び特別支援学級で使用する教科用図書の採択の年にあたります。さる7月22日に開催されました第3回教科書選定委員会の審議の結果、各教科の教科書が選定されましたので、委員の皆様にご報告させていただきまして、この委員会でご審議のうえ最終決定をお願いしたいと思います。

なお、今後の審議内容等の説明につきましては、選定委員会委員長であります酒井教育長にお願いいたします。

○福井委員長

では、教科用図書選定委員会委員長であります酒井教育長から説明をお願いいたします。

○酒井教育長

〔平成27年度使用教科用図書の採択について説明・質疑〕

○福井委員長

それでは、ここで質疑を終了させていただきます。

これより各教科用図書の採択に入ります。

冒頭、お話ししましたように、平成27年度使用教科用図書の採択につきましては意思形成過程の内容が含まれておりますので非公開といたします。

なお、教科用図書の採択結果につきましては、すべての採択事務が完了するまで秘密扱いとすることになっておりますので皆様にご了解いただきたいと思います。

委員の皆様よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、小山市教育委員会会議規則第17条第2項の規定によりまして、採択につきましては非公開といたします。

傍聴者の皆様にはしばらくの間ご退席をお願いいたします。

〔秘密会〕

○福井委員長

秘密会を解きたいと思います。

〔秘密会を解く〕

○福井委員長

続きまして、3号議案に入ります。小山市生涯学習推進協議会委員（補欠委員）の委嘱ということでございます。

これについての説明をお願いいたします。

○栗原生涯学習課長

それでは、生涯学習課からご説明いたしたいと思います。25ページをごらんいただきたいと思います。

小山市生涯学習推進協議会委員（補欠委員）の委嘱についてでございます。小山市生涯学習推進協議会条例第3条及び第4条の規定に基づき、小山市PTA連合会と小山市子ども会育成会連合会から推薦されていた委員に変更があったため、補欠委員の委嘱をするものでございます。

委嘱者の氏名、委嘱期間につきましては、小山市PTA連合会の専門委員の荒川久美子様。平成26年5月30日から平成27年3月31日まで、前任者の残任期間でございます。

もう一人、小林千枝子様、同じく子ども会育成会連合会の理事でございます。同じく平成26年5月11日から平成27年3月31日までの前任者の残任期間でございます。

26ページの名簿を参考にさせていただきたいと思います。網かけの部分が新委員となる選定でございます。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○福井委員長

議案第3号の説明は以上であります。

これにつきましての審議をお願いいたします。それぞれの団体の構成メンバーがかわったということで推薦されてきた委員でありますので、特段異議がなければ原案どおり決定したいと思います。いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第3号につきましては、原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第4号に入ります。小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会委員の委嘱についてということでございます。

これについての説明をお願いいたします。

文化振興課長、どうぞ。

○田村文化振興課長

文化振興課の説明の審議をお願いいたします。

29ページをごらんいただきたいと思います。件名としまして、小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会委員の委嘱についてでございます。こちらは、平成24年に設置いたしました小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会の委員の任期満了に伴いまして、設置要綱第3条2項の規定に基づきまして委員を委嘱するものでございます。

委嘱期間としましては、平成26年7月1日から平成28年6月30日までの2年間です。

委嘱者につきましては、今回改正なものですから、全員が変わる、新しく委嘱するわけですが、案につきましては、30ページを見ていただければと思います。委員につきましては12名になるのですが、うち11名は継続になります。11番の市民代表としまして曾篠貞男さんが南半田の自治会連合会長としまして、前回の自治会連合会長がかわったものですから、今回1名新たに委員として選出をされた委員でございます。

以上でございます。

○福井委員長

議案第4号の説明は以上でございます。

これにつきましての審議をお願いしたいと思います。

〔「済みません、訂正させてください」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

どうぞ。

○田村文化振興課長

川又征夫さんについては、年齢が「64歳」となっているのですが、「71歳」に訂正させていただきます。

○福井委員長

わかりました。

それでは、審議をお願いいたします。

これもそれぞれ専門の方、地元の関係者の方という構成になっております。特段なければ原案どおり決定したいと思いますのですが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第4号につきまして原案どおり決定いたします。

本日の審議事項は以上でございます。

○福井委員長

それでは、次回の委員会の日程についての説明をお願いいたします。

○添野教育総務課長

次回の8月の定例教育委員会の日程につきましては、8月の21日を予定しております。会場等についてはもう一度、追ってご通知を差し上げたいと思います。よろしく願いいたします。

それと、もう一点ございます。例年9月あるいは10月、11月ごろに市内の小中学校あるいは中学校、市内の公民館で移動の定例教育委員会を開催しております。学校の視察でありますとか、各公民館では地域の皆様の相当なご意見をいただいているわけなのですが、今年度につきましては、来年の4月から教育委員会の制度改革ということで総合教育会議等の事案がございます。まだ詳細につきましては不明な部分が多いのですが、大綱を決定するとかいろいろ教育委員会の中でご協議いただく、あるいはご理解いただくところが出てくるかと思っておりますので、今年度につきましては、そちらの移動の定例教育委員会を取りやめまして、こちらの内容について慎重なご審議をいただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○福井委員長

わかりました。

先ほども資料としてこの地方教育行政の法律の改正の部分も出てきたので、こういうのも含めて、これは事務量も大変だから本当にこれはスピーディーに我々も共通理解を図っていかないといけない非常に重い問題ではないかなと思います。そういうことでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

9月以降の話になります。まだこれは具体的な日程は決まっていません。

それでは、以上をもちまして7月の定例教育委員会を終了したいと思います。

長時間にわたるご協議ありがとうございました。

閉 会 午 後 5 時 0 0 分